

神戸市立科学技術高等学校 空飛ぶ車いす研究会  
～タイ王国出張修理活動報告～



サングワンさんが来院

①



サングワンさんが来院

②



スワンさんのお宅に家庭訪問

①



スワンさんのお宅に家庭訪問

②



ワタナーさんのお宅に家庭訪問

①



ワタナーさんのお宅に家庭訪問

②

日 程 令和元年8月26日～8月31日

訪問地 タイ王国 カンチャナブリ県ターマカ市 マカラック病院

目 的 国内で不要になった車いすを点検・整備し主に東南アジアの車いすが購入困難な人々に提供する活動の中で、タイの家庭訪問や贈呈式などを通じて直接利用者に手渡しすることで、使用状況や利用者の生活環境などを生徒たちが肌で感じ今後の活動に役立てるための学習の場とする。

参加者 生徒13名／引率1名



タンテップさんのお宅へ家庭訪問

①



タンテップさんのお宅へ家庭訪問

②



シャリオさんのお宅へ家庭訪問

①



シャリオさんのお宅へ家庭訪問

②

## 自分たちの作業に自信を持ちました

機械工学科2年生 夕部 綾之臣



タイ王国へ行って修理活動をするうえで、タイについた車いすを見てみると自分たちの学校が行っている作業に自信を持つことができました。

現地に送られてきた車いす 100 台の梱包を外してみてもう少し補修をすともっと良くなる場所もあり送る前の点検を確実にする必要がありますように思いました。今後、自分たちの送る車いすも命を乗せて使う車いすなので安全で安心して長く使ってもらえるように、技術力を高め、世界中の車いすを必要とされている方に使ってもらいたいと

思いました。

タイの観光では当たり前のことですが日本とタイの差が多くあることを感じました。日本にはないものをたくさん見ることができてよかったです。また、タイの方々はみんな優しく困っている僕たちにジェスチャーなどで教えてくれて日本のことしか知らなかった僕はタイに行ってもよかったです。行く前には不安がありましたがとてもいい経験をする事ができました。



## 自分たちの活動に自信が持てた

科学工学科2年生 坂中 優哉



部活としてタイに行き行って思ったことは2つあります。まずは、自分たちが行っている活動に自信を持っていいと思えるようになったことです。今まであまり体験できなかった利用者の方に直接、修理や調整をすることで本当に喜んでもらえていることを感じ取ることができたからです。

もう一つは自分たち以外にも車いすを修理している団体がたくさんいることを知ったことです。日本ではたくさんの車いすが不要になり廃棄されるものを東南アジアの国々に寄

贈することで車いすを受け取った方が幸せになります。日本に帰ってきて調べてみると空飛ぶ車いす活動は全国の工業高校生が取り組んでいると知りました。

最後にタイに行き、とても貴重な体験ができて本当に良い経験ができました。これからはこの活動に自信を持って頑張っていきたいと思いました。

